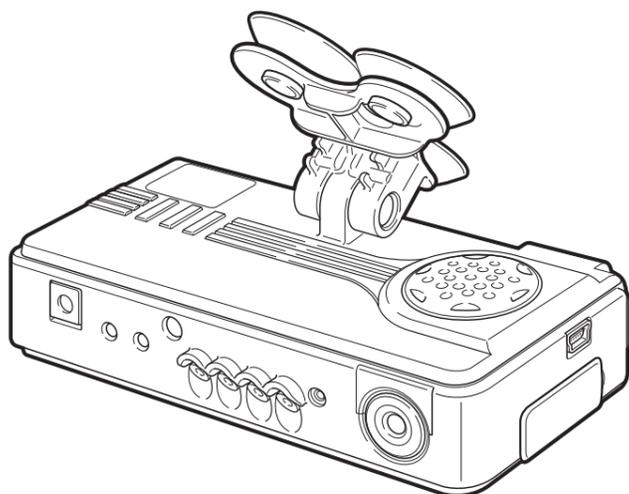


スタートアップガイド(設置ガイド)



このたびはドライブレコーダー LVR-SD500GH シリーズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

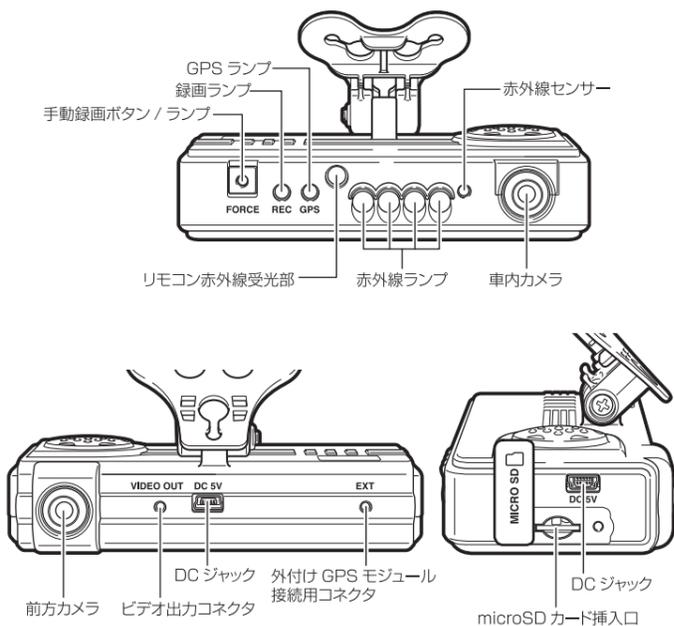
まず最初に『スタートアップガイド』をお読みの上、取り付け、電源の接続など、設置を行ってください。

『プレーヤー操作ガイド』(CD に保存された PDF)には、本製品で記録された映像の再生や、microSDHC カードのフォーマットなどを行う「CarBox2」の使用方法が記載されています。併せてご覧ください。

同梱品

- ・ドライブレコーダー(本機)
- ・ドライブレコーダー用 CD-ROM
(プレーヤー操作ガイド PDF およびプレーヤーが保存されています)
- ・microSDHC カード 8GB(Class10)
- ・SD カードアダプター
- ・シガーチャージャー(給電用)
- ・吸盤(6 個)
- ・接着取付用プレート(1 個)
- ・ビデオ出力用ケーブル
- ・リモートコントローラー
- ・スタートアップガイド(本書)

各部の名称

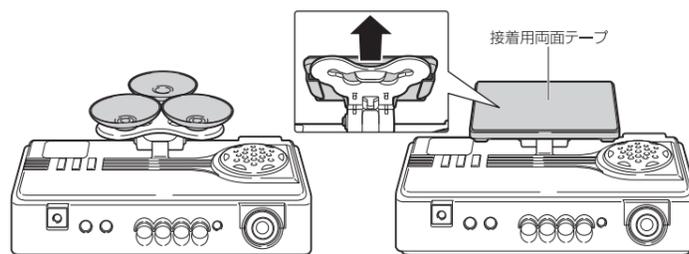


※外付け GPS モジュール接続用コネクタの、国内での取り扱いはありません。

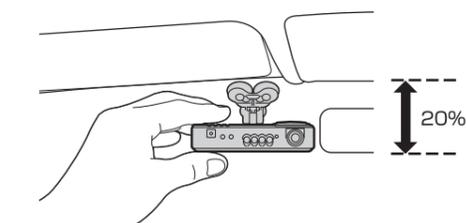
取り付け手順

本製品をフロントガラスに取り付け、画角を調整する手順を説明します。

1. ブラケットに吸盤、または接着取付用プレートを取り付けます。



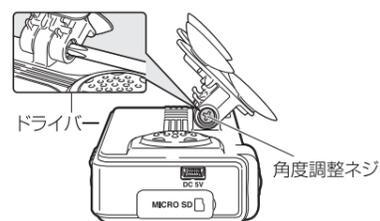
2. フロントガラスの取り付け位置をきれいに拭き取ります。
汚れが付いていると、吸盤や両面テープが剥がれる原因になります。
3. 本機をフロントガラスの適切な位置に取り付けます。



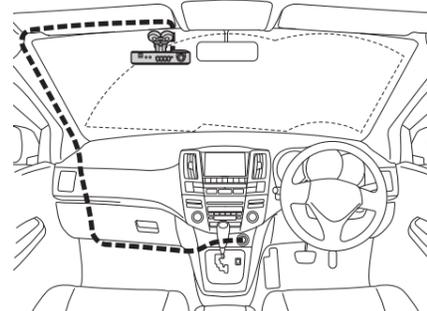
取り付け位置についてのご注意

- フロントガラスの上部 20% の範囲に取り付けてください。
- ・視界の妨げにならない位置に取り付けてください。
 - ・ワイパーの拭き取り範囲内に入るように取り付けてください。
 - ・ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、雨や汚れなどが原因で鮮明に画像が撮影できないことがあります。
 - ・ルームミラーの操作の妨げにならないように取り付けてください。
 - ・車検シールと重ならないように取り付けてください。
 - ・エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。

4. 製品が水平になるように角度を調整します。
5. 角度調整のヒンジが緩んでいる場合には、ドライバーで締めつけてください。



6. シガーチャージャーのケーブルを車の内装にはめ込むか、市販のケーブルクリップを用いてしっかりと固定します。

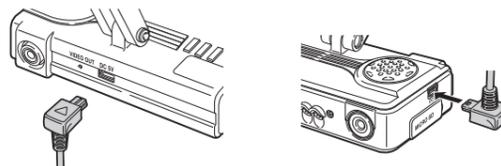


7. 本機の microSD カード挿入口に microSDHC カードを挿入します。

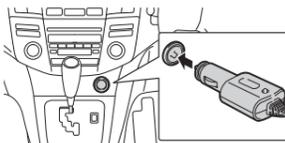


8. シガーチャージャーの DC プラグを本機の DC ジャックに差し込みます。

注意
DC ジャックは 2 箇所にあります。どちらか一方を使用してください。同時接続は製品の破損の原因になります。



9. シガーソケットにシガーチャージャーを取り付けます。



本機に電源が入り記録が開始されると、[REC] ランプが点滅します。

注意
電源を入れてから記録が開始されるまで、製品の起動のための時間がかかります。
走行開始時の映像を取得するために、ランプの点灯状態が録画状態になったことを確認してから走行を開始してください。

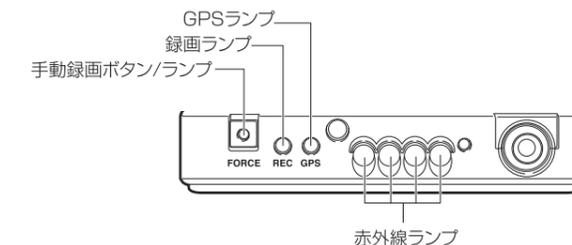
外部モニターへの出力

外部モニターを接続することで、以下のことができます。

- ・設置時の画像確認
- ・撮影時の映像の出力
- ・撮影後の記録映像の確認

詳細は『プレーヤー操作ガイド』の「外部モニターへ出力する」を参照してください。

ランプの説明



ランプ	説明
赤外線ランプ	夜間など車内が暗い時に明るく映像を取得するためのランプです。 ※目には見えない光を使用しています。電源が入ると、約 30 秒間点灯します。
FORCE (手動録画) ボタンのランプ	周囲が暗い場合は、ボタンの位置がわかるように微かに光ります。
REC(録画) ランプ	録画の状態を示すランプです。録画中は、赤色で点滅します。衝撃を検知したとき、または手動録画ボタンを押した場合に(録画中の映像を保護する処理が行われている間)赤色で素早く点滅します。
GPS ランプ	GPS の受信状態を示すランプです。GPS の電波追跡中は、緑色で点滅します。位置情報を取得すると、緑色で点灯します。

microSDHC カードを本機でフォーマットする

注意

- ・市販の microSDHC カードを使用する場合には、本機または付属のプレーヤーでフォーマットをする必要があります。なお、フォーマットされますので、必要に応じて事前に microSDHC カード内のデータをバックアップしてください。
- ・microSDHC カードには、撮影された映像や音声などのデータのほかに、製品の設定が保存されます。設定は必要に応じて、付属のプレーヤーで変更、設定することができます。本機でフォーマットした場合は、標準的な設定が書き込まれます。設定の変更については『プレーヤー操作ガイド』の「記録設定を変更する」を参照してください。

1. microSDHC カードを本機に挿入します。

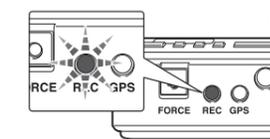


本機に microSDHC カードを挿入すると、自動的にフォーマットが開始されます。

[FORCE] (手動録画) ボタンを押して映像を記録する

[FORCE] ボタンを押すと、押した時点の前後約 45 秒の映像が、通常の走行中の映像とは異なる特別なファイルとして記録され、保護されます。データの処理が行われている間、[REC] ランプが赤く素早く点滅します。

※記録される時間は、録画の設定によって異なります。録画の仕様については、『プレーヤー操作ガイド』の「記録されるデータについて」を参照してください。



メモ

設置後必ず行っていただきたいこと

- ・正しく録画が行われているか、保存されたデータを再生して確認してください。
⇒プレーヤー操作ガイド「プレーヤーを起動する」「記録された映像を再生する」
- ・正しく録画が継続されているか、定期的に確認してください。
⇒プレーヤー操作ガイド「記録された映像を再生する」
- ・大切なデータ(イベントファイルなど)は、1 週間に一度バックアップしてください。
⇒プレーヤー操作ガイド「データを PC にバックアップする」

